

1年B組 道徳

授業者 川名隆行

展開場所 1 B 教室

I 題材名 あなたならどうする？

II 題材の目標

- 1 著作権に関する具体的な事例を通して、どこが問題なのか、どうするべきなのかを考える。
- 2 著作権は著作者に対する思いやりから作られている権利であることを理解する。

III 展開

時配	学習内容と活動	支援上の留意点 (○) および評価 (◇)
導入 10分	<ol style="list-style-type: none"> 1 お笑い芸人のネタを少し変えて自分の新ネタとして披露する。 2 著作権に関する○×クイズを行う。 	<p>○著作権に関する事例は私達の身近なところにもいくらでも存在していることを生徒の興味をひきながら理解させる。自然と生徒から著作権の侵害にあたるという指摘が出てくるとも予想される。オリジナルだということを強調させるのもポイントである。</p> <p>○著作権に関する知識理解を確認する。</p>
展開 25分	<ol style="list-style-type: none"> 3 著作権ほう助に関する問題事例を考える。 4 著作権に関して判断の難しい問題事例を考える。 	<p>○著作権と友達関係についてAさんの立場に立って考えさせる。</p> <p>○生徒の普段の生活の中で起こる可能性の高い事例をあげ、自分におきかえて考えさせる。</p> <p>◇どこが問題なのか、どうするべきなのか、考えているか。</p>
まとめ 10分	<ol style="list-style-type: none"> 5 2つの事例を通して、著作権を考えたときの大切な視点について考える。 	<p>○著作権について考えることは、相手に対する思いやりを持つことであることを確認する。</p> <p>○著作権だ、権利だ、侵害だというと冷たい印象があるが、相手を思いやる心を持つと自然と著作権の侵害はなくなることを考えさせる。</p> <p>◇著作権は著作者に対する思いやりから作られている権利であることを理解できたか。</p>

資料 5 - 2 (授業で提示した具体的な問題事例)

※展開 3 (著作権ほう助に関する問題事例)

A さんは親友の B さんに CD を貸しました。B さんは、A さんの知らないうちにコピーした CD を先輩に配っていました。B さんは、A さんに「ごめんね。良くないことだっているのは分かってるんだけど、先輩からの頼みで断れなくて……。A ちゃんには絶対迷惑がかからないようにするからさ。」

さて、みなさんが A さんの立場だったらどうしますか。

※展開 4 (著作権に関して判断の難しい問題事例)

ある教科でノート提出がありました。A 君は B 君のノートを写させてもらいました。「感想」や「気がついたこと」まで写して、ちょっと自分の意見を加えて、最終的には A 君の方が高い評価を得ました。B 君は A 君にノートを見せることを了承していましたが、評価が返ってきたときに意見や感想まで活用されていることを初めて知りました。二人は言い争ってしまいます。さて、このトラブルを避けるために彼らはどのように行動すべきだったでしょうか。

*A 君の主張

B 君はノートを写すことを許可しているのだから著作権にも違法していないし、B 君から文句を言われる筋合いはない。

*B 君の主張

A 君にノートを写すことを許可したけど、それは先生が板書したものに限ったことで、「感想」や「気がついたこと」のような自分のオリジナリティが出て、成績にも一番関わるようなところを写すなんて聞いていない。そんなの当たり前だから、言う必要はない。だから著作権の侵害だ。